

高校生の就業を支援

高校卒業生の就業や職場定着を図るため、徳島県労働者福祉協議会は、インターナーシップ（就業体験）とアルバイトを組み合わせた有給の就業体験「バイターン」の推進に取り組む。給与をもらつて実際の仕事を経験し、就業先と生徒の意向が一致すれば卒業後にそのまま就職する仕組み。8日、バイターンについて企業に理解を深めてもらうためのセミナーを開く。

有給でインターナーシップ バイターン普及に本腰

トがある。
労福協では県内の企業を訪問して受け入れ先の開拓を行つており、今後は経営団体などにも要請する。「インターナーシップより一步進んだ仕組み。学校と社会をつなぐ就職支援対策として期待できる」としている。

県労福協

労福協によると、バイターの動きは県内の各事業所に広がっている。しかし業務以外の雑務だったり、職場見学が大半を占めたりして、就職した後、有給で研修を継続させることでから職場環境や業務内容を学べ、給料をもらえることで労働の喜びも味わえることが知つて早期離職するケースもある。バイターンは、より密接に受け入れ先と関わることで、希望する職種や職場の向

（矢田諭史）

8日徳島市 企業向けセミナー